

令和3年度第2回社会教育委員会議概要

開催日時 令和3年11月30日(火)午後7時30分～

開催場所 柏原市役所本館4階大会議室

出席した委員

議長	北井	一男	
副議長	吉見	静香	
委員	青木	宏之	
委員	大東	則之	
委員	織部	芳一	
委員	川本	町子	
委員	小西	康弘	
委員	小森	美智代	
委員	辻野	恭子	
委員	永井	弓	
委員	野田	文子	
委員	山本	理	12名参加

出席した職員

社会教育課長	北西 浩二
社会教育課参事兼課長補佐	渋谷 隆文
社会教育課主査	林 利江子
社会教育課主事	古賀 亜美

資料

- ・令和3年度近畿地区社会教育研修大会(大阪大会)
- ・令和3年度第2回社会教育委員会議次第
- ・社会教育委員名簿
- ・第63回全国社会教育研究大会石川大会(資料1)
- ・生涯学習推進計画概要(資料2)
- ・令和4年成人式の日行事実施要項(資料3)
- ・令和5年成人式の名称について(資料4)
- ・令和3年度「社会教育講演会」について(資料5)
- ・河内長野市における社会教育委員の取組

会議の要旨について

1. 開会

※出欠確認 ⇒12名出席<会議の成立要件の過半数出席>
石川委員、住本委員、坂下委員欠席

2. 議長挨拶

3. 事務局紹介

人事異動に伴う事務局職員の紹介
渋谷 隆文 社会教育課参事兼課長補佐

4. 議事

(1) 第63回全国社会教育研修大会石川大会（報告）について

10月28日に開催。石川県で開催されたため、柏原市は不参加。大会HPにシンポジウムの大会資料が掲載されているので参考とされたい。

(2) 生涯学習推進計画概要について

第1回生涯学習推進計画策定委員会を11月11日（木）に開催。他の計画との関係や計画策定に関する基本的な考え方を説明。今後アンケート調査結果を基礎資料とし、計画骨子案を策定。策定委員会は全4回開催の予定であり、社会教育委員会議会で意見を聴取し、パブリックコメント等を実施しながら3月末の策定完了を目指して進めていく。

(3) 令和4年成人式の日行事実施要項について

事務局より成人式の概要について説明。日時は令和4年1月10日（月）、場所は市民文化会館（リビエールホール）大ホール・小ホールにて開催。

次第は第一部式典と第二部アトラクションとなっており、今年度も新成人による司会、祝太鼓、アトラクション等を予定。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、対策を講じながら実施。本来であれば主催者である社会教育委員の皆様にご出席いただくべきであると考えていますが、主催者及び来賓の皆様も一部ご臨席を見合わせていただいております。今回は社会教育委員を代表しまして、議長及び副議長のみのご出席とさせていただきたいと思っておりますので、ご理解願います。

(4) 令和5年成人式の名称について

令和5年以降の成人式の名称について、民法改正に伴う成人年齢が18歳になることに伴い、新成人を対象に成人式の在り方についてアンケートを実施。結果は今までもど

おり20歳での開催との結果を受け、また社会教育委員会議でも20歳での開催が好ましいとご意見いただきましたので、20歳での開催に決定。

成人式の名称について、本年8・9月にインターネット上において名称の公募を実施。応募件数は15件あり、その中から相応しいと思われる5つを候補とし、成人式企画運営委員会議において意見を徴収。5つの候補のなかではどれも積極的に推す声はありませんでしたが、「成人式」という名称をあえて変える必要はないという事で意見が一致。また応募の中でも成人式～はたちの集い～が一番応募が多かったことから、「成人式～はたちの集い～」を新しい式典の名称として提案。社会教育委員会議でご審議いただく。

⇒委員による審議の結果は、提案のとおりで決定。

これを受けて、12月の教育委員会議で報告します。

(5) 令和3年度「社会教育講演会」について

教育委員会主催、社会教育委員会議企画で「青少年健全育成」をテーマに講演会を毎年2月に実施。近年の課題として、集客に苦慮している、また知名度を優先した講師にお願いすると、健全育成の話が希薄になるという課題があり、今後の実施について事業内容は「青少年健全育成」としながら、対象者に応じて「一般向け講演会」や「社会教育委員向け研修会」などをローテーションしながら実施してはどうかというご意見をいただいていた。

事務局から、近隣市（中河内、南河内）における取組を聞いたところ、羽曳野市は年に1度社会教育施設の視察を行っているが、他の市については自主事業は実施していないという結果でした。

今年度の事業は令和4年2月5日に講演会を行う予定としておりましたが、教育委員会で検討した結果、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努める必要があると判断し、大規模な講演会の実施は難しいと判断。今年度は社会教育委員向け研修会を実施してはどうかという判断に至る。

委員の皆様のご意見を伺い決定することとする。

⇒委員の主な意見

- ・社会教育委員自身の研修を行うことについて賛成
- ・新種のコロナウイルスが新たに発見されたと聞いた。コロナウイルスの今後について安全だという保障がないため、大規模な講演会の実施は難しいのではないかと。
- ・コミュニティ・スクールについて名前は聞いたことがあるが、内容について詳しくわからない。この機会に話を聞きたい。

ご意見を受けて、研修会を実施することで決定。

講師は「文部科学省コミュニティ・スクール推進員、ゆめまなびネット代表の大谷 裕美子氏」。研修内容は「生涯学習、社会教育、コミュニティ・スクール」とし、日時は講師と調整することとする。

後日講師と調整し、

令和4年2月5日（土）13：30～15：00

場所：市役所4階会議室

で決定となる。

（6）河内長野市における社会教育委員の取組

10月13日に河内長野市の社会教育委員の大谷副議長に河内長野市の社会教育委員の取り組みについてお話を聞いてきました。大谷副議長は生駒市の社会教育委員も兼務されています。話の内容は下記のとおり

①社会教育委員会議が報告会にならないようにする。

②社会教育委員会議で何か積極的に取り組みはしない。何かをされているところに参加してつながりを作ることが大事である。

③教育委員との交流をもつ。（柏原市でも以前交流があったが、コロナ禍の少し前から交流会がなくなっている）

④学校への関与の仕方を工夫する。

⑤コミュニティ・スクールの導入を行う。（地域（人）と学校をつなぐ）

以上の報告を受ける。

5. その他

特になし

6. 閉 会

吉見副議長挨拶